

視聴覚教育
メディア論

白金高輪の歴史と明治学院ツアー

主に明治時代の明学の様子を、港区周辺の写真とともに振り返る。当時の明学はどんな存在であったか、思いをはせるツアー。

対象：歴史に興味のある方



写真の中の明治・大正-国立国会図書館所蔵

写真帳から- 高輪泉岳寺

①



明治学院歴史資料館

②



明治学院歴史資料館

【インブリー館】1889(明治22)年頃に竣工

インブリー夫妻が住んでいた洋風住宅

・当時の港区周辺では、まだ伝統的な民家が多く、洋風の建物は珍しかった。

・室内には後年普及してきた、ガス灯の器具が付けられていた跡がある。

☆西洋文化、当時の新しい文化の要素を見つけてみる。

【チャペル(礼拝堂)】1916(大正5)年3月に竣工

・この写真に映っているのは1903(明治36)年建設のミラー記念講堂。明治学院のチャペル(礼拝堂)の始まりの建物。

・明治学院のチャペルはゴシック様式で作られている。

・白金高輪周辺では寺院が多く、当時の白金高輪周辺にはチャペルがなかった。

☆周りには寺院が多い中、明学のチャペルはどんな存在だったか考えてみる。



写真の中の明治・大正-国立国会図書館所蔵写

真帳から- 高輪岩崎邸

③

【記念館】1890(明治23)年6月に竣工

当時の明学の建物群は西洋文化がいち早く取り入れられたものであり、また現在でも、当時の面影を残している存在。そこでチャペルやインブリー館で当時の明学に思いをはせた後、歴史資料館ではその時代の移り変わり、明治学院の変遷を実際にジオラマで見て、タイムトリップを追体験する。